

今年度の取り組みを踏まえて、次年度以降も引き続き検討していきます。

南部地域における公共交通の取り組み（横山校区）

公共交通の現況調査①

① オレンジバス年間乗降人員者集計(平成30年度)

- ◆西ルート(3便/日)
 - ・登下校の利用傾向あり(第1便:877人/年、第3便:646人/年)
 - 横山病院の利用は東ルートよりわずかに多い(第2便:123人/年)
- ◆東ルート(4便/日)
 - ・横山病院の利用は低い(第2便:77人/年)ほとんどが家族のマイカー送迎
 - ・通学(小学校)時間に利用できないダイヤ⇒路線バス通学定期の負担増
 - ・乗降利用の低迷(第3便:19人/年、第4便:5人/年)

オレンジバス利用状況

◆西ルート

便	停留所	第1便(7時25分発)			第2便(8時53分発)			第3便(15時41分発)			合計								
		乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計						
1	横尾中学校前	0	0	0	0	0	0	13	1	14	0	0	0	13	1	14	31	8	39
2	小川口	1	101	102	0	0	0	75	2	77	1	1	2	75	5	80	124	10	134
3	小川	18	19	37	0	0	0	10	0	10	0	0	0	10	0	10	10	0	10
4	坪井町会館前	2	636	638	0	0	0	1	1	2	8	0	8	7	1	8	14	1	15
5	日切地藏	3	34	37	0	0	0	0	25	25	4	0	4	3	25	28	13	3	16
6	咳の地藏	1	101	102	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7	0	7	2	0	2
7	九鬼八幡宮前	1	2	3	0	0	0	2	0	2	1	0	1	40	854	894	39	877	918
8	九鬼町中	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	0	0
9	九鬼町下	0	0	0	3	3	12	0	12	0	0	0	0	33	3	36	3	1	4
10	岡町公民館前	2	0	2	1	0	1	30	3	33	2	0	2	12	0	12	0	9	9
11	岡町中	6	0	6	0	0	0	4	0	4	0	0	0	11	0	11	0	0	0
12	横山小学校前	0	5	5	9	877	886	19	3	22	25	0	25	0	0	0	0	0	0
13	北田中	0	0	0	1	0	1	7	0	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0
14	横山高校前	0	0	0	6	3	9	3	0	3	3	0	3	18	34	52	15	86	81
15	下の宮	0	0	0	0	1	1	6	0	6	8	0	8	2	636	638	3	367	370
16	横山病院前	0	0	0	0	0	0	0	3	3	123	9	132	15	114	126	72	8	80
17	南部小中学校前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	8	101	107	1	0	1
18	横尾中学校前	0	0	0	20	5	25	0	0	0	11	3	14	8	0	8	2	5	7
合計		35	892	927	38	889	927	207	9	216	204	12	216	384	1,576	1,940	343	1,582	1,940

◆東ルート

便	停留所	第1便(8時01分発)			第2便(10時30分発)			第3便(14時36分発)			第4便(18時25分発)			合計					
		乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計			
1	横尾中学校前	12	0	12	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8	0	8	0	0	0
2	東南面利	100	0	100	5	0	5	75	2	77	0	0	0	4	1	5	6	0	6
3	南面利	8	0	8	0	0	0	1	0	1	2	0	2	2	1	3	0	0	0
4	善正	19	0	19	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	福瀬新田	0	0	0	0	0	0	1	0	1	8	0	8	0	0	1	0	1	0
6	北福瀬	7	2	9	0	0	0	14	1	15	2	0	2	0	0	0	0	0	0
7	福瀬戎	0	0	0	0	0	0	4	0	4	6	0	6	0	0	0	0	0	0
8	上川橋	6	0	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	横山小学校前	27	0	27	1	0	1	5	0	5	31	0	31	1	1	2	1	3	0
10	北田中町中	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
11	小野田町中	8	0	8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	小野田町南	3	0	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	神社前	0	0	0	0	0	0	1	1	2	15	0	15	0	0	0	0	0	0
14	伝並町北	0	0	0	1	0	1	0	1	1	3	0	3	0	0	1	1	2	0
15	横山病院前	0	2	2	172	2	174	0	0	0	8	0	8	0	0	0	0	0	0
16	南部小中学校前	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	横尾中学校前	0	0	0	1	2	3	0	0	0	13	3	16	0	0	3	2	5	0
合計		192	4	196	192	4	196	105	5	110	104	6	110	15	4	19	15	4	19

オレンジバス 経年推移 (西ルート/東ルート/横尾山ルート)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
市負担金(円)	5,519,100	4,873,160	5,288,433	5,308,733
輸送人員(人)	8,923	7,443	7,652	8,899
西ルート(大人)	308	240	210	364
西ルート(小人)	1,767	1,256	1,210	1,576
東ルート(大人)	365	351	288	317
東ルート(小人)	16	9	17	13
横尾山ルート(大人)	6,239	5,345	5,675	6,370
横尾山ルート(小人)	228	242	252	259

公共交通の現況調査②

② 公共交通に関するアンケート調査(8/20~9/20)

- (対象)
- ・回答者の6割以上が50~70代(男女比は4:6)
 - ・家族構成で、「親と子」(約5割)
 - (バス・自動車利用)
 - ・1年以内に路線バスを利用していない(7割以上)
 - ＜バス利用傾向＞路線バス停まで徒歩10分以下の圏内(約8割)
 - ・1年以内にオレンジバスを利用していない(9割以上)
 - ・マイカー利用目的(本人)の大半は買物・通勤 ※(家族)は買物が主
 - ・地域によっては市内より河内長野方面へ買物に出掛ける方が多い
 - ・学生や高齢者が過ごしやすい環境づくりを根本的に見直す必要あり

配布数 4,065枚
回収数 2,207枚
回収率 54.2%

公共交通の現況調査③

③ 地域のくらしの移動をどうしたらよいか? みんなで考えるワークショップ(第1回:11/30、第2回:12/21)

ワークショップのご意見 ⇒裏面をご覧ください

- ・利用低迷な東ルート第3・4便の運行見直しが必要(皆で乗って利便性を体験すべき)
- ・デマンド乗合タクシー(セダン型)の方が家や目的地の近くまで着けるので高齢者には便利
- ・南部リージョンセンターを拠点にネットワーク検討
- ・小中一貫校スクールバスの動向によるが、高齢者と子どもを切り分けて考える必要あり

地域住民の皆さんが特に優先的に必要とするもの...



「高齢者が快適に住み続ける南部のまちづくり」



地域のくらしの移動を どうしたらよいか？ みんなで考えるワークショップ (横山校区)

① ワークショップのまとめ

オレンジバス利用実態や地域住民アンケート結果を情報共有し、外出時の課題や地域で住み続けるために必要な公共交通の機能や役割について、各グループで意見交換しました。

各グループの意見では、「オレンジバスの利用者層を絞った運行の見直し」や「バスに替わる交通手段の導入」のほか、「南部リージョンセンターの重要性」など、様々な意見が出されましたが、みなさん、通院や買物など高齢者が利用しやすい生活交通の確保策は必要であるという意見でした。

項目	Aグループ	Bグループ
各グループ の外出時の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が延べ人数では分からないが、特定者の利用であればタクシーに移行すべき ・こどもと高齢者を切り分けて考えるべき ・必要な時間帯にオレンジバスがあれば（第3、第4便は必要なし） ・移動スーパーがあれば ・オレンジバスではなく乗合タクシー（タクシー補助） ・オレンジバスの東ルート（南面利）で通学ダイヤの見直し ・通学定期（1学期 15,000円）負担が大きい（オレンジバスのダイヤが合えば利用するが） ・通院の日中に高齢者対象のタクシー・バス運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット（利用者層）を絞って、効率よくルート設定をすべき ・利用状況を見てルート、便数の見直しをすべき ・コープ（生協）で事足りるという声を聞く ・横山病院への通院にオレンジバスが非常に助かっているという声がある ・今のところ全員マイカー運転できているため公共交通はほとんど利用しない ・近所の高齢夫婦に買物を頼まれることが多い ・通学では雨の日にオレンジバスを利用することが多い（坪井町会館前など） ・通学ではマイカーによる送迎が多い（乗合） ・高校生の通学にかかる駅までの交通確保の問題（定期代が高い、時間がかかる）
各グループ の意見	<p>【地域で住み続けるために必要な公共交通の機能や役割＜テーマ＞】</p> <p>対象者 : 高齢者、こども</p> <p>運行タイプ : 家・目的地まで来てくれる、あちこち寄り道する、フリー乗降区間</p> <p>目的地 : 和泉中央駅、総合医療センター、市内の医療施設、河内長野方面</p> <p>運行頻度 : 週2回（通院・買物）、利用や曜日などで絞り込む（通院）</p> <p>運行時間帯 : 午前中（通院・買物）、朝夕（こども）、時間帯考慮</p> <p>料金 : 高齢者半額（免許返納）、均一料金</p> <p>地域・まち : 南部リージョンセンター活用、横山小学校跡地に郊外型商業施設、空き家対策いらない</p> <p>づくり : まちづくりの方針が間違い、いきいき体操など地域毎に公民館で</p>	<p>【地域で住み続けるために必要な公共交通の機能や役割＜テーマ＞】</p> <p>対象者 : 高齢者（5～10年後を考えると）</p> <p>運行タイプ : 家の近くで手を挙げたら乗せてもらえる、デマンド型、セダンサイズ</p> <p>目的地 : 南部RC、横山病院、小中一貫校の3つが重要</p> <p>運行頻度 : 多ければ多いほどいいが…</p> <p>運行時間帯 : 午前中が充実していれば…</p> <p>料金 : 安ければありがたい、デマンド型は利用しすぎると市の財政負担が大きくなる</p> <p>地域・まち : 南部リージョンセンターの活用</p> <p>づくり</p>
各グループ のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●乗合タクシーの利用を補助する方が、家や目的地の近くまで着けるので高齢者にとっては便利では ●オレンジバスの特定利用の実態を把握したうえでバス運行の見直しや代替案を検討すべき ●現行の東ルート第3、第4便は利用低迷から必要がないのでは ●小中一貫のスクールバス運行が見込まれており、高齢者とこどもを切り分けて考える必要がある ●和泉中央駅までの移動を確保できれば、通院や買物は概ね対応できるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ●5～10年後を考えると高齢者の移動手段確保が必要 ●市としても関係部署の連携が必要（社協や公民協働） ●デマンドがあれば利用したい（今の利用者からするとセダンサイズでもよいのでは） ●我々町会長等が率先してバスを利用していかないといけない ●南部リージョンセンターを拠点にネットワークを考えてはどうか ●乗合タクシーでもオレンジバスでも先ずは乗ってもらわないと便利かどうか分からないので、無料乗車体験等の企画をしてはどうか
ワークショップ の様子		